



6月議会が始まりました。

経済、暮らしは本当によくなるの？

6月議会が10日から始まりました。大森雅夫市長は所信表明で、消費税率引き上げ後も、経済は着実な回復を続けていくものと見られておりますと語りました。しかし、消費税率引き上げを上回るベースアップが、全国津々浦々でなされたわけではありません。また、年金支給額は4月から引き下げられ、後期医療の保険料は4月から値上げされ、介護保険料は来年が見直しの年に当たり、引き上がる可能性があり、市民の暮らしは、決して楽観できる状況ではありません。安心な暮らしを支えるために、岡山市として対策をとる必要があります。

おもな施策

補正予算は1億7700万円で、社会保障・税番号制度に伴うシステム改修費が約1億円、地域の共同活動による農業用施設の管理等を支援する補助金が10aあたり4400円から5400円にあがる多面的機能支払交付金事業（3808万円）や救急車両（1台）の更新整備（3304万円）、消防団員の耐切削性手袋（切り傷を防ぐ手袋）・防火衣の整備（1650万円）、小学校7校にスクールカウンセラーを配置する事業（444万円）などです。

2014年度当初予算の中心市街地活性化政策パッケージ社会実験「県庁ぶらり歩き」や、「西川緑道公園筋フリーウォーク」もイオンモール開店より前ということですが、実施時期はまだ決まっていません。

ももちやりの拡充については、サイクルポート8箇所の増設、自転車を守るラック130台の増設、自転車90台の追加もまだこれからの状況です。桃太郎大通りの路上駐輪場は整備が終わり、市民の方々に広く利用されています。

岡山駅西口の200台を超える放置自転車対策として、路上駐輪場の整備を進めています。130台以上の路上駐輪場を整備することとし、事業者の公募を開始しています。

路面電車の岡山駅前広場乗り入れについては、計

画素案により、複数の案を比較検討し、本年度中に計画案を示すとしています。吉備線のLRT化については、「LRT化計画素案」の公表に向けて検討を進めていくという段階でそう簡単にはいかないようです。

ESDについては、「ESDのための公民館・CLC国際会議」が10月にあります。11月の国際会議に向けてまだまだ周知が必要です。議場でのESDのポロシャツ着用もその一環として行われました。

子ども医療費助成制度については、助成拡大の方向ではありますが、その年齢や自己負担を導入するかなどが議論されるようです。中学生まで、自己負担なしでの拡大が必要だと思います。

新築移転を検討している市民会館に関しては、「市民会館・市民文化ホールのあり方検討会」が4回開かれ、施設の位置も含め、今年度中に基本構想を固めていくとの市の方針です。どういう施設が必要なのかはよくわかったと思います。それをどこにどんな風に建てるのか、様々な議論がまだ展開されそうです。

就学援助制度 …子どものことを第一に

経済的に困窮する家庭に地方自治体が学用品代などを補助する「就学援助制度」があります。この制度は生活保護の基準額に連動しています。

生活保護の基準額は今年4月から引き下げられています。その結果、横浜市のように14年度から援助対象者が1%減る自治体もあります。

岡山市は、今年度は13年度の生活保護基準を使っていますので引き下げられてはいません。来年度に向けては現在検討中だそうです。行政としては、まず第一に子どもたちにしわ寄せがいかないよう対応をすべきです。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼ 6月10日(火) ～27日(金) 6月定例市議会
- ▼ 6月19日(木) 質問検討会
19:00～/下市このみ事務所
- ▼ 6月30日(月) おしゃべりネット
10:00～/下市このみ事務所

労働相談なんでもライン / TEL&FAX 086-270-5350 / 相談無料・秘密厳守